



北海道情報大学同窓会 蒼天会 交流会にて(2019.2.15開催)

北海道情報大学同窓会

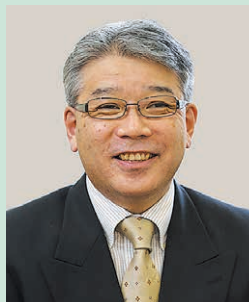
蒼天会 会報 Vol.17

発行：2019年12月1日
北海道情報大学同窓会

30年以上経ちました

北海道情報大学 情報メディア学部長

松井伸也



平成元年に本学が創立され今年で31年目、元号が変わり令和となりました。大学は4年で一回りという関係で変化は遅いように感じますが、30年も働いていると色々な事がありました。建物、コンピューターなどの変化は見るだけで分かります。ちょっとホームページを調べて貰えば、学部、学科、カリキュラム、教員の方々の現状は分かると思います。事務の方々に関しては外からみてもわかりにくいと思います。是非Home Coming Day(蒼天祭)にお越し頂いて、学生サポートセンターを訪ねてみてください。教員に関してはかなり人が変わりました。初年度から本学に在籍する教員は若干名となり、亡く

なられた先生もおられます。

話を私自身に限りますと60歳となり年相応となりました。所属は教養から情報メディア学部へと変わり、ここ10年ほどはゼミ担当として卒業生を出し、彼らは優秀な社会人として現役で頑張っているようです。ゼミを担当した卒業生全員に年賀メールを出しています。行き先不明メールもありますが、時々くれる返事から少し様子が見えています。ここ数年はシステム情報学科で教職の単位を取りたい学生のゼミも担当し、その中の数名の方々が教員となり教鞭を執られています。さて私に子どもが出来た頃から、学生さん達への接し方が変わってきたような気がします。考えるのが遅すぎると卒業生に叱られる気がしますが、子どもが出来た頃から数年は、若い学生さん達に必要な事は何であろうかと悩んだ気がします。

さて、現在は情報メディア学部の学部長を担当していますので、学部の話しましょう。メディアの卒業生なら分かって貰えると思いますが、情報メディア学部は楽しい・厳しい教育を行い多くの学生達の支持を受けてきていると思います。これは情報メディア学部開設の当初から様々な努力をしてきた先生方の成果で、私はそこにポツと参加し楽をさせて貰っていると思います。一番新しい話をすると齋藤一先生を室長として「次世代教育推進室(仮称)」を図書館に作る予定です。雰囲気の良い環境で、パワーのあるPC、65インチ程度の大型モニターなどを用意し、e sports、3DCG・動画のレンダリングなどを含め新しい手法を教員と学生がともに研究する施設となる予定です。今年度以内には必要な工事と備品搬入を終える予定です。

最後に、30年経った話を書かせて頂きましたので、大学開学の30年ほど前の白黒写真(札幌市菊水にある若葉公園だと思っています)としました。あしからず。



同窓会交流会開催報告

2018年2月に初開催し、多くの卒業生・教職員にご参加いただきました同窓会交流イベント『同窓会交流会』を今年も2019年2月15日(金)に開催いたしました。

今回も、大学で行われる就活生向けイベントを卒業生が多く集まる日に設定しましたところ、78名の方にご参加いただきました。2度目となりました今回は学生の参加もあり、ゼミの研究発表やクラブ活動報告、卒業生の近況などで、大変盛り上がりしました。2020年も2月14日(金)に開催する予定です。詳細が決まり次第、同窓会Webサイトなどでご案内します。

「情報大の卒業生・教職員・学生が年に1度、野幌に集う会」を定着させたいと思っていますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

大きな組織の中で 働くということ

情報メディア学科
平成25年度卒業

名越 慎さん



平成25年度卒、情報メディア学部、情報メディア学科安田ゼミ出身の名越慎と申します。

卒業後、東京や札幌のweb制作会社でwebデザイナーとして勤務しておりましたが、現在は楽天株式会社 ECインキュベーション開発部 C2Cサービス開発課で、UI/UXデザイナーとして勤務しております。弊社では、おもにEコマース・フィンテック・デジタルコンテンツ・通信など、70を超えるサービスを展開し、世界で約13億人のユーザーに利用されています。その中でも、いまは「ラクマ」というフリマアプリのサービスに、デザイナーとして従事しています。デザインの力をもって課題解決を行うことが大きな任務になり、サービスのアプリやwebサイトのデザインはもちろんのこと、イベントブースやノベルティ、グラフィックデザインなど業務は多岐に渡ります。また、デザインの業務以外にも、人材育成や採用担当、新規事業開発のサポートなどの業務も行っていきます。グローバルな環境で、自由度の高い仕事を行うことができるのは、企業文化として、新しいビジネスを興していこうとするアントレプレナーシップ(起業家精神)を育み、従業員が自らの考えで行動を起こす「自走」する力が求められているからこそできているのだと感じています。

学生時代では、特にwebサイト制作のデザインや構築に関することを学んでおりました。ゼミナールの活動では、産学連携プロジェクトを軸にさまざまな企業や団体のwebサイト制作を行う中で、サイト制作の技術に留まらず、コミュニケーション方法やビジネス用語など数多く学ぶことができました。また、安田ゼミのゼミ



長としてゼミ生を牽引する立場の職務を遂行することができました。他にも、webデザインコンテスト入賞者が履修できる科目でタイに短期留学をし、現地の学生とワークショップを行いながら国際文化に触れたり、東京の大手広告代理店へのインターンシップに参加するなど学生時代は精力的に活動しており、その後の学生生活や就職活動でも大きな成果を残すことができました。恩師の安田先生からは、「自分のバリューを常に考え出し続ける」という考えを教えていただきました。この考え方は、仕事をする中で大切なキーワードとして捉えて日々を過ごしています。

話は変わりますが、今年6月に情報メディア学部の在校生へ向けて、これまでの仕事や学生時代行ってきたインターンシップの体験談について講義を行いました。とても真剣に私の話を聞いてくださったのと、質問も多く投げかけてくれたので、登壇してお話することができてよかったですと感じています。

【学生へのメッセージ】

学生時代の過ごし方で、その後の人生は大きく変わると私は考えています。今を大切に残り少ない学生生活を楽しく謳歌してください。皆様のご活躍を卒業生として心より願っております。



「交流会支援制度」をご活用ください!

本会では会員の皆さんの交流を支援する「交流会支援制度」を行っています。「大学の友人とは卒業以来会っていない」「サークルのOB会をしたい」「お世話になった先生と食事がしたい」などと思っている方。この制度はそうした同窓生の背中を後押しする制度です。これからの時

期、忘年会、新年会で活用するのも良いですね!是非ご活用ください!旧友や恩師と再会し、思い出話を花を咲かせてみませんか。

● 申込方法など詳しくは同窓会Webサイトをご覧ください。



第31回 蒼天祭を終えて

学生実行委員会 委員長
情報メディア学科 3年生

加藤 裕太さん



今年は10月12日(土)、13日(日)に蒼天祭が開催されました。

今年の蒼天祭は台風19号の影響が心配されていましたが、両日共に開催することができました。特に2日目は、少し肌寒く感じる気温でしたが天候に恵まれ、青空の下で開催できたことを大変喜ばしく思います。

今年は令和となって初の蒼天祭ということで、「ツナガルミライ」というテーマで実行委員会一同準備を進めてまいりました。このテーマには、今を明るい未来へつなげたいという思いが込められています。今年の蒼天祭を起爆剤として来年以降も新しいことに挑戦していけたらと思います。

さて、今年行ったステージの企画ですが、新しいことを始めたいということになり、1日目では講堂にて新企画「リアル脱出ゲーム」を行いました。「リアル脱出ゲーム」というのは、参加者が会場に集まり、様々な謎を解いて会場から脱出するというものです。本学では、この企画を主催するゲームマスターに扮するMCが参加者を講堂に閉じ込め、謎を解くことによって講堂から脱出できるという設定で行っていました。新企画ということもあり成功するか心配でしたが、たくさんのお客様に楽しんでいただくことができました。

また、毎年恒例となっておりますYOSAKOI演舞ですが、道内各地から豪華なチームをお呼びして演舞を行っていただきました。2日目にはチームの垣根を越えた参加チーム全員での大演舞でメインステージを大きく盛り上げることができました。

他にもサブステージにて行ったSo-ten LiveやBINGO大会、サークルによる演奏を行った学生企画などでたくさんの方に楽しんでいただけたステージ企画となったのではないかと思います。

学生による学内展示や模擬店も例年通り賑わっていました。台風の影響を考慮し、2日目の外模擬店は急遽スカイウェイの下で行う



こととなりましたが、2日も変わらず多くのお客様が食べ物を求め買いにきていたように感じました。今年は2日とも学生たちが力を合わせ展示や模擬店を運営する様子が見られて、嬉しく思います。

昨年の蒼天祭では台風の影響で2日目中止になってしまい打ち上げることができなかった蒼天大花火ですが、風の影響により一時打ち上げが心配されましたが、今年は無事に秋の空には珍しい大きな花火で蒼天祭のフィナーレを飾ることができました。

最後になりますが、教職員の皆様と同窓会の皆様、OB・OG・在学生、蒼天祭に参加して下さった学生や来場者の皆様のお陰で今年も蒼天祭を無事に終えることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

TOPICS

「北海道情報大学同窓会入学奨励金」のご案内

この制度は、本会会員のご家族が本学に入学した場合、入学後の手続きにより入学金相当額を上限として入学奨励金を給付する制度です。

3年目の今年は10件の申請があり、全員の給付を決定。既に入学奨励金の給付を終えましたことをご報告いたします。

来年度、大学進学を検討されているご家族がいらっしゃる場合は、ぜひ母校の受験をお勧めいただき、入学された際には本奨励金の申請をお願いいたします。

●申請方法等詳しくは同窓会Webサイトをご覧ください。

<https://www.hiu-dosokai.net/admissionsubsidy>

「北海道情報大学教育研究振興募金」への協力

平成28年度から続けております「北海道情報大学教育研究振興募金」に対する寄付を今年度も10月12日(土)に実施した「大学との意見交換会」の際に同窓会木村会長から澤井学長に目録をお渡ししましたので、ご報告いたします。



「同窓会ホームカミングデイ2019」開催報告

「同窓会ホームカミングデイ2019」を今年も開催いたしました。たまには母校に帰ってきてほしい、蒼天祭にたくさんの方に来てほしいとの思いから2015年から始め、今では恒例行事となってきた感があります。

5回目となる今年は、心配された台風も2日目に風がやや強い程度で、蒼天大花火も無事に開催することができました。ご家族やご友人と来場

された方、道外から来られた方など本当にたくさんの方が来場してくれました。今回は120名の卒業生にご来場いただきました。ありがとうございました。

参加できなかった同窓生の皆さん、来年は帰っておいで。母校があなたの帰りを待っています！